

2019 年度事業活動計画書

常任委員会名	高等教育行政対策委員会	分掌者	井上智子
構成メンバー	<p>委員長：井上智子（国立看護大学校）</p> <p>委員：上泉和子（青森県立保健大学）、石井邦子（千葉県立保健医療大学）、大島弓子（豊橋創造大学）、岡谷恵子（常任理事）、小山真理子（日本赤十字広島看護大学）、酒井明子（福井大学）、坂下玲子（兵庫県立大学）、宮崎美砂子（千葉大学）、</p> <p>協力者：矢富有見子（国立看護大学校）</p>		
活動の主旨と活動計画	<p>1. 文部科学省、厚生労働省等の看護関連の検討会、日本看護協会等関連団体の方向や社会情勢の動きを迅速に把握、日本看護系大学協議会としての見解や方向性を議論し、必要時に適宜、声明や提言を公表する。また、会員校に対しては各大学での議論に資するような情報提供等を積極的に行う。</p> <p>2. Academic Administration に関する活動</p> <p>1) 研修会やグループ討議を通して、看護系大学の教員間で Academic Administration に関する理解を深め、概念を共有し、大学の管理運営に関する意識を高める。</p> <p>2) 現在、大学あるいはマネジメント担当者が抱える課題を明らかにし、Academic Administration の観点からそれらの課題への対応や戦略を検討する。</p> <p>3) 会員に対する大学の経営、運営管理、組織、戦略の立て方等について実践的な管理研修を実施する。</p> <p>3. 専門職大学に関する情報収集と情報発信（ホームページ上のバナー内容の充実）</p> <p>2020 年度開設（予定）の専門職大学の会員校としての受け入れ準備を進める。</p>		

常任委員会名	看護学教育質向上委員会	分掌者	鎌倉やよい
構成メンバー	<p>委員長：鎌倉やよい（日本赤十字豊田看護大学）</p> <p>委員：石橋みゆき（千葉大学）、菅原京子（山形県立保健医療大学）、関根正（東京医療学院大学）、高見沢恵美子（関西国際大学）、泊祐子（大阪医科大学）、宮林郁子（福岡大学）、山田聡子（日本赤十字豊田看護大学）、石井邦子（千葉県立保健医療大学）</p>		
活動の主旨と活動計画	<p>1. 看護系大学学士課程の臨地実習ガイドラインの作成</p> <p>JANPU が平成 27 年度から 29 年度の間、文部科学省の大学における医療人養成の在り方に関する調査研究委託事業として実施した看護系大学学士課程の臨地実習に関する調査研究、基準作成に関する調査研究等の報告書に基づき、実習ガイドラインを作成し、報告書を作成する。</p> <p>2. 科研費審査システム改革の影響に関する調査</p> <p>科研費審査システム改革 2018 の影響を確認するために、日本看護系学会協議会と合同して調査を実施した。調査結果はベースラインデータとして機能するため、毎年調査を実施してデータを蓄積する。</p>		

常任委員会名	看護学教育評価検討委員会	分掌者	小山真理子
構成メンバー	委員長：小山真理子（日本赤十字広島看護大学） 委員：江川幸二（神戸市看護大学）、亀井智子（聖路加国際大学）、 添田啓子（埼玉県立大学）、高橋和子（宮城大学）、田中美恵子（東京女子医科大学）、 平林優子（信州大学）、服部智子（日本赤十字広島看護大学）		
活動の主旨と活動計画	主旨 日本看護系大学協議会の会員校における学士課程教育全体の質向上に向けた取り組みを行う。		
	活動計画 1. 雑誌での広報（3回に分けて雑誌に掲載する） 2. 「看護学士課程教育におけるコアコンピテンシーと卒業時到達目標」の活用に向けた研修会の開催 第1回研修会：日本看護学教育学会第29回学術集会「指定交流セッション」 第2回研修会 日時：2019年10月13日(日)13:00～15:30 場所：聖路加国際大学 3. 支援ガイド作成に向けての準備（研修会でのヒヤリング結果もふまえて検討予定）		

常任委員会名	高度実践看護師教育課程認定委員会	分掌者	担当理事：小松浩子
構成メンバー	担当理事：小松浩子（慶應義塾大学） 委員長：本庄恵子（日本赤十字看護大学） 委員：眞嶋朋子（千葉大学）、簗持知恵子（大阪府立大学）、成田伸（自治医科大学）、 中野綾美（高知県立大学）、正木治恵（千葉大学）、野末聖香（慶應義塾大学）、 山口桂子（日本福祉大学）、渡部節子（横浜市立大学）、上野昌江（関西医科大学）、 高見沢恵美子（関西国際大学）、森下安子（高知県立大学）、武田祐子（慶應義塾大学）、 酒井明子（福井大学）、神里みどり（沖縄県立看護大学）、浦田秀子（長崎大学） （協力者：三浦英恵・吉田みつ子（日本赤十字看護大学））		
活動の主旨と活動計画	高度実践看護師教育課程の認定を推進し、高度実践看護師の増加と質の向上に寄与する。		
	1. 高度実践看護師教育課程の新規認定の実施：会員校からの申請に基づき、専門分科会（専門看護師14分科会、ナースプラクティショナー1分科会）を組織し、教育課程の認定を行う。 2. 高度実践看護師教育課程の認定更新（10年目）の実施：認定後10年を経過した会員校からの申請に基づき、更新認定審査会を組織し、教育課程の更新認定を行う。 3. 高度実践看護師教育課程認定に関する情報発信および相談業務の充実：専門看護師26単位申請（更新申請）、ならびに専門看護師38単位申請、ナースプラクティショナー46単位申請について、会員校からの質問や問い合わせに応じ、認定申請の支援を行う。 4. 2020年度版審査要項の作成：2020年度版を作成し、会員校へ審査要項を配布する。また審査要項（申請の様式を含む）は、本協議会ホームページにも掲載する。 5. 審査規準等の検討：必要に応じ、教育課程に関する審査基準等の検討を行う。 6. 高度実践看護師教育課程の分野特定：新たな分野特定が申請された場合には、基準に基づき審議を行う。 7. 高度実践看護師教育課程の質の向上について検討する。 8. 認定委員会、専門分科会の効率的な運営等について検討する。		

常任委員会名	広報・出版委員会	分掌者	堀内成子
構成メンバー	委員長：堀内成子（聖路加国際大学） 委員：川本祐子（東京医科歯科大学）、小山友里江（北里大学）、 瀬戸山陽子（東京医科大学）、能見清子（創価大学）、米倉佑貴（聖路加国際大学）		
活動の主旨と活動計画	1. 会員校と高校生とその保護者が看護情報に触れるためのソーシャルメディアの検討。HPのコンテンツの充実、スマートフォン対応画面の実施。 2. 会員校に向けて、JANPU 出版物の活用、DOJ の登録促進、＜今月の看護教員＞でのネットワーク作り、英文情報の充実による閲覧増加。 3. 高校生に向けて、公式＜Twitter＞の開始と拡散、DOJ の閲覧数の増加を検討。 4. 上記の新しい取り組みの変化を把握するためのモニタリングを実施する。		

常任委員会名	国際交流推進委員会	分掌者	上別府圭子
構成メンバー	委員長：上別府圭子（東京大学） 委員：池田真理（東京女子医科大学）、上野里絵（東京医科大学）、 小川純子（淑徳大学）、キタ幸子（東京大学）、グレッグ美鈴（神戸市看護大学）、 谷口初美（九州大学）、深堀浩樹（慶應義塾大学）		
活動の主旨と活動計画	1. 主旨 1) 看護高等教育における国際活動・国際交流を積極的に推進する。 2) 第 23 回 The East Asia Forum of Nursing Scholar (EAFONS) の Executive Committee Meeting に参加する。 3) 看護系大学における国際的な研究活動を推進・支援する。 2. 活動計画 1) 看護系大学における海外の大学との国際交流及び連携の推進・活性化を目的とした研修会を開催する（1 回／年）。 2) 第 23 回 EAFONS 開催に向けて、開催大学への協力や他国の Executive Committee Members との連絡調整を行う。		

常任委員会名	データベース委員会	分掌者	荒木田美香子
構成メンバー	<p>委員長：荒木田美香子（国際医療福祉大学） 委員：川口孝泰（東京情報大学）、佐藤政枝（横浜市立大学）、 石田千絵（日本赤十字看護大学）、磯野真穂（国際医療福祉大学）、 小檜山敦子（文京学院大学）</p>		
活動の主旨と活動計画	<p>1. 主旨：本委員会は日本看護系大学協議会の会員校における学習環境、教育内容、社会的役割などの現状を毎年数量的に把握し、社会及び会員校における看護学教育の在り方の検討、教育政策、看護政策などへの提言のための基礎資料を作成し、より一層の看護学教育の向上を目指している。</p> <p>2. 活動計画：2019 年度には日本私立看護系大学協会（以下、私立）との共同実施事業として、両組織の加入校（短期大学を除く）を対象に、「2018 年度 看護系大学に関する実態調査」を企画・実施し、さらなる回収率の向上をめざす。信頼性の高いデータが得られるように回答しやすい内容とし、調査内容の充実を図るとともに、他機関では得られない部分についての検討を踏まえて、会員校の参考資料となるようなデータベースの構築に向けて検討する。</p> <p>さらに今年度は、過去 5 年間の調査結果から一般傾向を把握する。</p>		

常任委員会名	災害支援対策委員会	分掌者	中野綾美
構成メンバー	<p>委員長：中野綾美（高知県立大学）</p> <p>委員：内木美恵（日本赤十字看護大学）、船橋香緒里（修文大学）、増野園恵（兵庫県立大学）、三澤寿美（東北福祉大学）、三橋睦子（久留米大学）、森下安子（高知県立大学）</p>		
活動の主旨と活動計画	<p>活動の主旨：本委員会は、防災及び災害支援に関わる事業を行うにあたり、看護系大学の防災組織のあり方や広報、防災教育などの重要事項を協議し、本事業の円滑、適正な運営を図ることを目的として活動する。</p> <p>活動計画：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 被災後の教育継続に関する連携体制づくりを行う。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 被災後の教育継続支援のための指針(案)の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・被災後の教育継続に関して JANPU が対応する内容 ・被災校が提出する情報シート ・支援可能な大学が提出する支援シート ・JANPU 地域ブロックを構成する都道府県を最小単位とした連携体制づくりとして、委員会で検討した内容（参加希望大学の代表者の届出をする、各都道府県の当番校を決める、災害支援対策委員は担当ブロックの状況を把握し委員会は全体を把握する、当番校の役割の明確化、委員会の役割の明確化を行う） など 2) 被災を体験した会員校から指針(案)についての意見を聴取する会の開催 3) 被災後の教育継続に関する連携体制づくりについてのフォーラムの開催 その1 <ul style="list-style-type: none"> ・被災校の体験から（西日本を中心とした豪雨の被災体験から） ・JANPU 地域ブロックを構成する都道府県を最小単位とした連携体制づくりとして、委員会で検討した内容を提案し、討議する。 <p>上記2) 3) は、9月～10月の同じ日に開催する予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4) 被災後の教育継続に関する連携体制づくりについてのフォーラムの開催 その2 上記1)～3)をもとに作成した「被災後の教育継続支援のための指針 2019 (案)」を紹介し討議する。3月に開催する予定である。 <p>2. 会員校に「防災マニュアル指針 2017」の冊子・ホームページを活用して啓発活動を行う。</p>		

臨時委員会名	APN グランドデザイン委員会	分掌者	岡谷恵子
構成メンバー	<p>委員長：岡谷恵子（日本看護系大学協議会）</p> <p>委員：上野昌江（関西医科大学）、宇佐美しおり（四天王寺大学）、神里みどり（沖縄県立看護大学）、河口てる子（日本私立看護系大学協会）、小松浩子（慶應義塾大学）、佐藤幸子（山形大学）、瀬戸奈津子（関西医科大学）、田中美恵子（東京女子医科大学）、棚橋さつき（高崎健康福祉大学）、長戸和子（高知県立大学）、正木治恵（千葉大学）</p>		
活動の主旨と活動計画	<p>本委員会は、日本におけるグローバル水準の高度実践看護師制度の構築を目指して、高度実践看護師の役割や裁量の拡大を実現するための制度改正、資格や教育課程の認定のあり方、養成を促進するための方略等について、関係する団体や機関と連携・協働しながら、幅広い観点から具体的な戦略を提示し、制度構築の実現に向けて活動する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. JANPU-NP 資格認定審査の実施 2. 高度実践看護師制度の構築 <ol style="list-style-type: none"> ① 高度実践看護師の役割および裁量の範囲 ② 制度構築に当たっての課題の整理と具体的戦略 ③ 高度実践看護師の専門看護分野の再編・統合 ④ 高度実践看護師の養成促進の方略 3. 関係機関・団体との連携・協働 		